

# 災害は忘れずにやってくる

震災と火山噴火の真因 シリーズ 4 部作

2022, 9, 7作成

工博(東北大学) 紫綬褒章受章

野尻明美

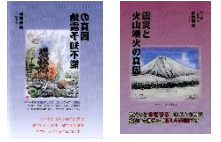
①地盤災害の真因 (鹿島出版会)

②震災の真因 (V2 ソリューション社)



③地震予知不能の真因 (V2 ソリューション社)

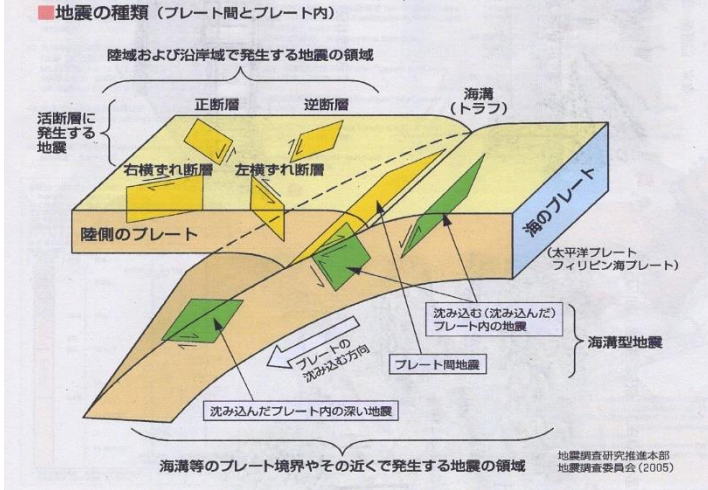
④震災と火山噴火の真因 (V2 ソリューション社)



## 1. 地震と火山噴火発生メカニズム

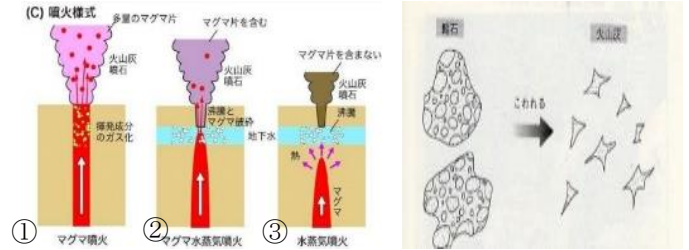
**定説** 地震はプレートが割れたりずれたり、火山噴火はマグマや蒸気が噴き出して起きるとい物理現象。

地震発生メカニズム



政府 地震調査研究推進本部 地震調査会

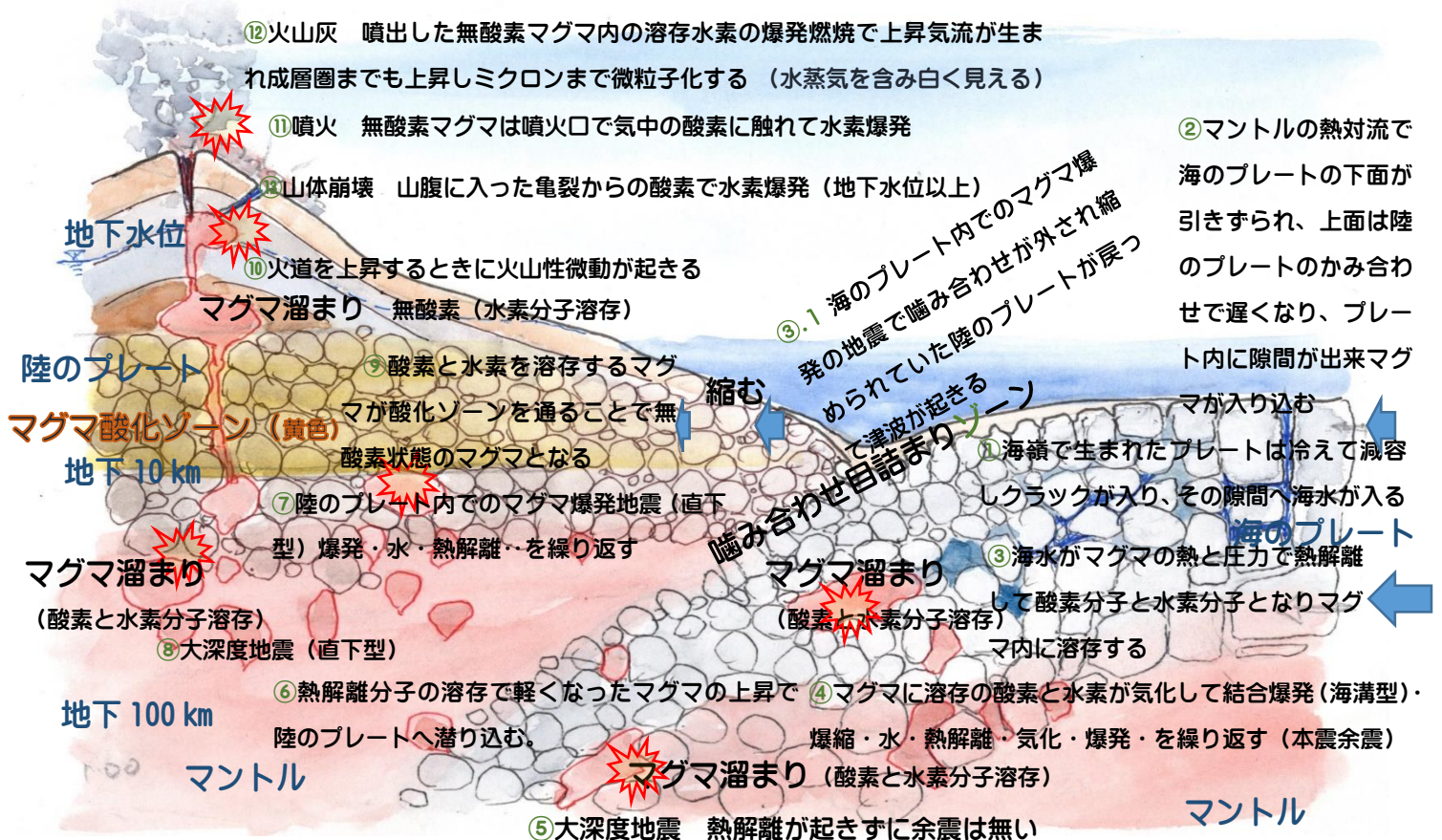
火山噴火と火山灰の生成メカニズム (京大 鎌田)



- ① マグマ噴火; マグマが噴火口から噴出。黒い煙
- ② マグマ水蒸気噴火; 地下水に触れることで灰色の煙
- ③ 水蒸気噴火; 地下水が沸騰することで噴火白い煙

火山灰の生成メカニズム; マグマの軽石が細かく砕かれてガラス質の火山灰が出来る。

**野尻仮説** 地震も火山噴火も 地下水が熱解離現象で分離した酸素と水素を溶存したマグマの水素爆発という化学現象。

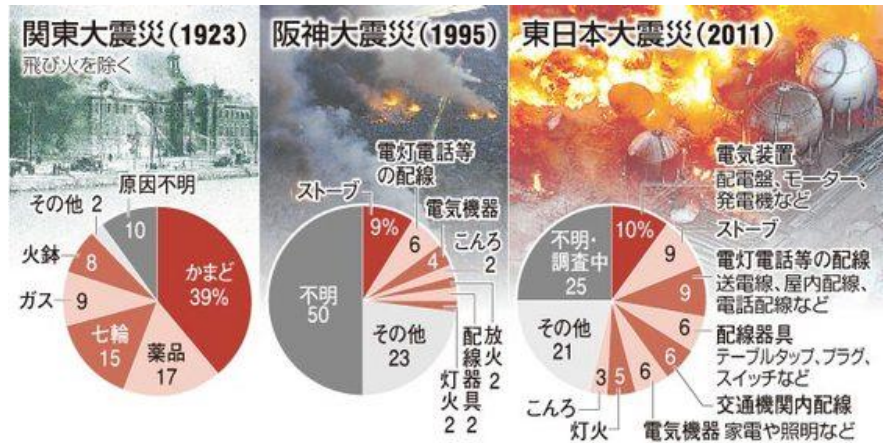




## 2. 液状化火災と津波火災発生メカニズム

### 定説

液状化火災、津波火災という言葉もなく、地震学者も火災学者も気付いていない。しかし、震災での死因の大半は液状化火災と津波火災での焼死です。しかし、関東大震災、阪神大震災、東日本大震災でもその失火原因には項目すら見当たらず無視されています。



### 野尻仮説

沖積層や盛土層や海底へドロ内には有機物が腐食分解して出来るメタンガスを溶存している地下水があり、これが地震でゆすられると分離し地下水とともに地表へ湧出して地盤支力を喪失させ、湧出するメタンガスに火が付いて同時多発火災が起き、一気に無酸素空気となり失神窒息焼死で大勢の命を奪います。迫り来る首都直下地震、他の大震災ではこの最悪被害を無視しているので防災対策も無くまた繰り返されます。**震災から命を守るにはどんな防災・備蓄にも勝るのは正しい知識です。**

### 液状化火災



関東大震災の旧陸軍被服廠跡での大惨事直前の風景。避難民が4万人集まった足元には液状化によりメタンガスが噴出し着火、無酸素空気、失神、窒息、焼死により3.8万人の命が失われた。都内では148カ所の同時多発火災が起きた。



福井地震の福井市街地。福井市が全部失われた。田の草取りの農婦が吸い込まれて水死したが、液状化の水はメタンガスが湧出しているため比重は1.0以下となり、人は沈む。これを液状化の定説では説明できない



阪神淡路大震災の長田区火災。耐震耐火が進みパネル構造の文化住宅が倒れないまま焼失した。285カ所で同時多発火災が起きていたが、原因不明の失火は液状化でのメタンガスのはず。

### 津波火災



東日本大震災での気仙沼市。燃えるはずのない津波を被って倒された瓦礫や海面に浮かぶ重油に火が付いて3日間も燃え続け海中から発見された死者の死因は窒息、焼死も含まれている。



東日本大震災での避難場所に指定されていた石巻市門脇小学校には校庭に車が渋滞し多くの避難民が命を落としたが、死因は津波での水死ではなく津波火災での焼死も含まれている。



首都直下地震での液状化と津波でのメタンガス火災が懸念される臨海地帯のタワーマンションや石油コンビナートの防災対策にもこの最悪災害が無視されている。